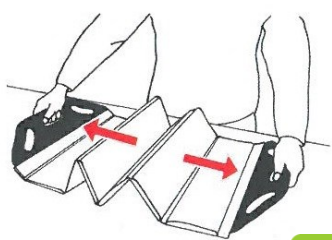


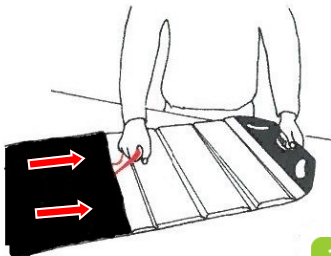


準備をしましょう



1

フレックスボードを広げます。



2

付属のカバーを装着します。



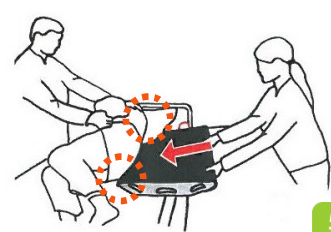
3

準備完了です。



4

利用者を側臥位にし、フレックスボードを差し込みます。

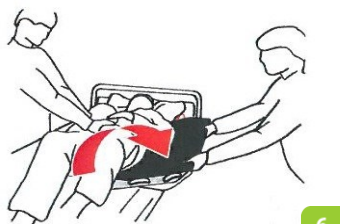


5

* 利用者を側臥位にする際に、バスタオルや小さめのシーツを併用するとより移乗も行いやすくなります。

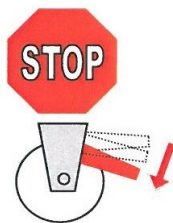
利用者の頭の下あたりからお尻のところまでカバーするようにフレックスボードを差し込みます。

* 枕の下から差し込みます。



6

利用者を元の位置に戻します。
フレックスボードは利用者の身体の約半分位かかるようにします。



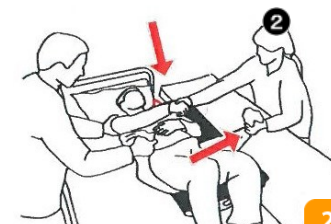
それでは移乗です。
移乗元と移乗先のベッドやストレッチャーなどのロックが掛かっていることを必ず確認してください。

移乗しましょう



1

①の方が利用者を少し側臥位にさせるような感じで、フレックスボードに利用者の体重を乗せるようにします。



2

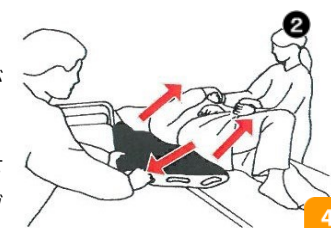
同時に②の方は肩とお尻周辺のバスタオル等を掴み引きます。

* 利用者の手が使える場合、手を握ってもよいでしょう



3

移乗元を少し高くすることで、よりスムーズに移乗することができます。
利用者の足も移乗側へ移動させます。フレックスボードのグリップを引きながら抜き取りま



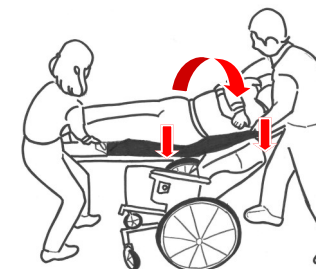
4

* ②の方は利用者を少し側臥位にさせることでフレックスボードが抜き取りやすくなります。

チルトリクライニング等の車いすへの移乗



フレックスボードは独自のアコーディオン形状のため角度のある車いす等への移乗もスムーズに行えます。



1 車いすの角度と沿うようにベッドの背上げを調整します。

2 移乗元の高さが少し高くなるようにベッドの高さを調整します。

3 頭側のサポートと足側のサポートに分かれ、同時に利用者を少し側臥位にさせるような感じで、フレックスボードに体重をのせます。

4 持ち上げずにフレックスボード上を滑らせるように移乗します。移乗し終わったらフレックスボードを取り除きます。